

# 夕刊 警城時報

行發日 二  
編輯兼發行 岡田弘成  
印刷所 警城時報社  
發行所 警城時報社  
一部金貳圓 一月金廿圓  
廣告料 一行十四字 五十錢  
日刊 日曜祝祭日 翌日休刊

## 脅迫の嫌疑で檢舉 意外な犯罪發覺

### 玉川村前助役長瀨顯義

玉川村政革新同志會幹部前村長である同村大字林城酒造業長瀨顯義(四一)を引致すべく去月二長寺の會計係をやつてゐるのを藤三郎兩氏に對し直接行動に十七日平署員が長瀨宅を訪れた。奇貨とし一十圓を横領してゐた出る旨の脅迫状を贈つた事件は、瀨自宅で内郷村酒造業長瀨水(外一石百七十圓の酒を二百三十平署で内頂の結果有力な嫌疑者三五)玉川村農業者鈴木榮(三一)圓で賣つてゐた事も判明した。として前助役前消防組頭で村議と現金賭博を開帳してゐたので。

## 怪しい男女の客は

### 果してお尋ね者

### 前借詐欺の常習犯

平署では本年始めから平署前旅(三一)女は福島市外八島田生れ館開館に東京市議選區千束生ハル(二二)と判明、山形縣町丸山彌藏(三二)泰春子(二二)警察部から詐欺犯として指名手と稱して滞在してゐる男女の學配中のもつた。片桐は春動に不審を抱き一日夜檢舉平署の美觀を種に各地前借詐欺をに運行中丸山は逃走を企てたの働らいてゐたもので、平市では一町目まで追跡格闘の上逮捕去る一月六日松ヶ岡公園ときわ取調へた處、山形縣寒河江町生で香具師數名と一勝負百圓内外れ脅嚇傷害前科二犯片桐太郎の大賭博を行った事も判明した。

## 坂本昌藏君負傷

### 中支戦線から便り

平市一町目出身佐藤部隊坂本昌藏君は中支戦線に負傷した旨左の如き書面が届いた。

二千六百年の新陽を迎へ愈々隊長様の御員の方々様には御健昌の御事と存上途に御慶び申上ます

信益々警陽健兒の意氣に燃て猶一層勉勵しあくまで滅私の奉公を一途に軍務に邁進致す可く覺悟であります。團員諸君には嚴寒の初自備自愛、銃後の務に益々御健闘あらん事を切に祈上ます。先は右記新年の御祝詞等々近況まで 早々

## 箕輪 永戸 合併決裂

其輪、永戸兩村では過般役場で協議會を開いたが、同組合村は現在六名宛の村議を出してをり

## 平山隊長から 木幡軍曹の戦死詳報

平市田町藤田女學校教員木幡林助氏(二)男文夫君は昨年十二月十三日中支戦線で名譽の戦死を遂げたが、戦死詳報左の如く平山隊長から通知があつた。昭和〇〇年〇月〇日上海陸軍以來老陸宅、馬家宅附近の戦闘を始めとし江陰城攻撃、南の攻撃、徐州會戰、武漢攻、豫東會戰等中支各地の戦闘に参加し常に勇戦奮闘す。其の任務を遂行し按察の功あり。昭和〇〇年〇月〇日一日、宿霧附近の警備並に戦闘に參加し十二月十三日〇三〇南端漢寺〇〇隊は主力を以て〇〇灣附近に渡河侵入せる敵を捕くべき任務を受けたが敵は既〇〇〇〇〇附近にも侵入しハ

## 精動通信

### 玄米食は女の子が生れる？

#### 玄米食十年の体験者 眞繼雲山

玄米食は、その養分方、たべ方に無智なるため本然の風味を損し、又よく咀嚼せぬために消化不良となる等の原因から、併し玄米食その物は相當ある。併し玄米食その物を不定する如き、玄米食を食せしむる無である事と思ふてゐたところ、近頃奇怪な若しは美ふに堪へたる一二の反對説を耳にし片腹痛きことに覺える。その第一は營養研究所長と

りて我が前進を阻止せんとす。私は直ちに戦闘を開始し該敵を撃破して多寶灣に向はんとせし。敵は意外の大部隊にて一部は〇〇〇隊を襲ひ一部は我が右側背より包圍せんとする如く熾烈なる銃砲火を浴せつ、我に迫りたるを以て我

## 日曹の火事は 煙道の過熱

### 火夫三名送局

平署では昨朝赤井村字淺口日曹亦非警察所の火災について本田司法主任が取調へた結果、煙の過熱から發火したものと判明した。即ち二十九日午前九時向、煉瓦の材料を入れて四つのカマ、百三十圓で買ひ之を湯本町古物に火を点じ二番夜焚き續けて三商季〇増(四)に賣り更に東京十一日午前十時消火する筈であつたが、煙突に至る間のコシクリトの煙道の過熱からその上においてあつたカマが燃え出し發火したもので、平署では火夫石田忠治(五四)添田正治(二六)柴田留五郎(四八)三名を△出生 北町町鈴木政明二女

## 古物商人 故買で檢舉

内郷村古物商李仁達(四九)は少二名が警備から盗んだ金銀を湯本町古物商季〇増(四)に賣り更に東京十一日午前十時消火する筈であつたが、煙突に至る間のコシクリトの煙道の過熱からその上においてあつたカマが燃え出し發火したもので、平署では火夫石田忠治(五四)添田正治(二六)柴田留五郎(四八)三名を△出生 北町町鈴木政明二女

## 平市人專錄

見たからといふのである。果して玄米食が女ばかり生れるとすれば成程これは軍國下の大問題たるに相違ない。併し科學者でもなく又醫者でもない私であるが、右兩説ともに一笑に附すべき妄説に過ぎないことを一言のものとに説破し得る。それは瑞穂の國の日本は神代この方白米食で生きて來たものでは、萬中中期までは玄米食一本で通して來たのであり、今より二百年ほど前から白米食が流行し始め「黒からう、まづからう、白からう」旨からうといふ當然な心理が全般に働いて、とうとう白米一式に轉向するに至つたのである。斯く二百年前に國民

愛子、鎌田町大塚兵三郎二男  
富士夫、五丁目佐々木一(三)  
○婚姻 宮城縣田尻町中千里(二六)  
▲死亡 正月町藤原三郎(七〇)、古銀治町山崎金作(六)

電話 38 284  
常に商品豊富  
御用命は.....  
平市 三井呉服店へ

### 強電力氣應用 神經痛に特效

治癒率の高  
TEL 19 町中平

やうといふは人間の淺智といふものである。第二に、玄米食の女子多産説に至りては正に噴飯物である。説の如くならば二百年以前の日本は女ばかりであつたかといふことは、笑談ではない、日本は軍國以來、決してお伽噺のやうな女進の島ではない。

### 歸郷御挨拶

謹啓 時下嚴寒之候益御清適の  
 段奉賀候陳者小生今事變頭初應  
 召以來〇〇陸軍病院外科勤務中  
 は公私共多大の御高配を賜り大  
 過なきを得常に感謝仕居候  
 今般不圖も召集解除と相成歸郷  
 仕候就いては今後銃後にあり一  
 層勉勵仕心組に御座候間何卒倍  
 舊の御鞭撻を賜り度茲に謹みて  
 御挨拶迄如斯御座候 敬具

昭和十五年一月卅日  
 平市南町  
 上田耕作

### 電話權讓受度し

平局管下

電話番號 一〇〇〇  
 二〇〇〇  
 三〇〇〇  
 一、九〇〇  
 一、八〇〇  
 一、七〇〇

某鑛業所 (姓名在社)

### 吸入用酸素純度99%

モノサシ  
 ハカリ  
 マス

体温器  
 寒暖計

寫眞機  
材料一式

關内藥局  
 電話四〇番

### 御婚禮御着附 パールマントウエープ

御婚禮用髪を御利用下さい  
 和洋結髪  
 オゾン美顔術  
 御染髮洗毛術  
 平市驛前

水野化粧院  
 電話(六七八)營業所  
 (五二五)自宅



特約店  
 大平屋藥店  
 目丁一市平 [二四六電]

おでん 酒の店  
 やき鳥 味郷  
 茶めし  
 平三田小路

### 白鳥鑛泉

旅館中湯 春木屋  
 絶好の湯治時期です  
 新館も落成致しました  
 電話(湯本局)二二四番

### すき焼

「旨い」一言にして盡く  
 神戸牛  
 相始め申候  
 日本料理 山茶莊  
 電話五二〇番

### パン食普及の時代!

毎度有難う御座います  
 自慢の食パン 一斤十六銭  
 榮養パン バターロール  
 甘コッパン チョコレートロール  
 野菜サラダパン クリームロール  
 カレーパン・カツパン・黒パン  
 ベーカリー 東京堂  
 平市播磨小路 [電話一〇八番]

### 冷凍魚

お魚  
 調 鮭 金頭 帆立貝  
 エビ イカ 貝焼 其他  
 日本水産特約(電三六三三六)  
 卸賣平製氷會社  
 尾瀬平代理店 平魚屋  
 甲子目(電五二八)

### 北川外科

内臓外科  
 レントゲン科  
 書夜診療  
 入院随時  
 醫學博士 北川芳夫  
 平市新川町 [電四六四]

夜間診療

松村村松 專門科醫院  
 (番七〇一電) 町南市平

内科  
 胃腸病科  
 花柳病科  
 性病科  
 泌尿器病科  
 皮膚病科  
 肛門病科

開業

どんかつ 専門の店  
 御ひいきをお願致します  
 平市仲田町  
 かの家  
 (出前迅速) 電話四六五番

西村屋藥局

電話 3番です

藥品百貨  
 寫眞機材料の店です

平市本町二丁目  
 西村屋藥局